



旧吹屋小学校校舎 本館・東校舎・東廊下・西校舎・西廊下



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうふきやしやうがっこうしや ほんかん・ひがしこうしや・ひがしろうか・にしこうしや・にしろうか
所在地	高梁市成羽町吹屋
指定年月日	平成15年3月11日
解説	擬洋風建築としても県内最古級。明治33年(1900)に、東校舎と西校舎が、明治42年にその両者の間に本館が建築された。設計・施工は、地元の佐藤元三郎。各校舎の天井裏には、トラス構造が用いられている。本館の二階講堂には、見事な折上げ天井が見られる。西校舎は昭和24年(1949)に公民館として、また同33年から体育館として利用され、内部はかなり改造されたが、骨組みは当初のものをよく残している。数少ない明治時代の学校建築の形態をよく残すものである。
アクセス方法	備北バス「吹屋行き」「吹屋」バス停から徒歩10分
公開状況	外観のみ
設備	吹屋ふるさと村の駐車場・トイレをご利用ください。  駐車場  トイレ
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧吹屋小学校校舎 本館・東校舎・東廊下・西校舎・西廊下
よみかた	きゅうふきやしょうがっこうこうしゃ ほんかん・ひがしこうしゃ・ひがしろうか・にしこうしゃ・にしろうか
しょざいち (所在地)	高梁市成羽町吹屋
していたひ (指定した日)	平成15年3月11日
せつめい	明治(めいじ)33(1900)年に東校舎(ひがしこうしゃ)と西校舎(にしこうしゃ)が、明治42(1909)年に本館(ほんかん)が建てられました。洋風建築(ようふうけんちく)の様式(ようしき)をまねた木造校舎(もくぞうこうしゃ)で、現在(げんざい)も小学校(しょうがっこう)として使用(しよう)されています。